

## 2018年度卒業生アンケートに関する報告

## 1. アンケートの実施について

2018年に実施した卒業生への聞き取りによるアンケート調査の結果についてまとめる。アンケートは面接・聞き取り調査により2018年3月に卒業した学生を対象として、各学科において8月中に実施を行った。

## 1) アンケートの集計と分析について

アンケートの分析は回収率と各質問項目について、選択回答である質問1から質問6までは単純集計を行い、質問7、質問8、質問9の回答記述についてはテキストマイニングを用いて分析した。テキストマイニングは株式会社ユーザーローカルの提供するテキストマイニングのフリー分析ツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) を用いて、全学、各学部のそれぞれの回答についてワードクラウド分析を用いて特徴抽出をおこなった。

## 2. アンケート結果について

## 1) 各学部・学科の回答率

質問1の卒業学科の回答より、各学科におけるアンケート回答数と卒業者数、回収率を表1にまとめた。

全体ではおおむね20%程度となり、全学では平成29年度大学卒業者349人に対して、80名からの回答で回答率は22.9%となった。

表1. アンケート回収率

文学部	回答数	卒業者数	回収率
国際言語・文化学科	17	70	24.3%
史学・文化財学科	8	83	9.6%
人間関係学科	11	39	28.2%
文学部計	36	192	18.8%

食物栄養科学部	回答数	卒業者数	回収率
食物栄養学科	15	65	23.1%
発酵食品学科	10	34	29.4%
食物栄養科学部計	25	99	25.3%

国際経営学部	回答数	卒業者数	回収率
国際経営学科	19	58	32.8%

大学全体	80	349	22.9%
------	----	-----	-------

## 2) 質問項目 2. 性別に関する集計結果

質問 2 の回答者の性別について、集計した。

回答者の男女比について、大学全体・学部別の集計結果を表 2.1 に、学科別の集計結果を表 2.2 にそれぞれ示した。

表 2.1 回答者性別 (学部別・全体)

学部名	男	女
文学部	17	18
	47%	50%
食物栄養科学部	8	17
	32%	68%
国際経営学部	9	10
	47%	53%
大学全体	34	45
	42.5%	56.3%

表 2.2 回答者性別 (学科別集計)

学科	男	女
国際言語・文化学科	9	8
	53%	47%
史学・文化財学科	4	4
	50%	50%
人間関係学科	4	7
	36%	64%
食物栄養学科	2	13
	13%	87%
発酵食品学科	6	4
	60%	40%
国際経営学科	9	10
	47%	53%

### 3) 「質問項目3. 別府大学での学びの満足度」に関する集計結果

質問3の別府大学での学びの満足度について、「1. 大変満足している」、「2. 満足している」、「3. 普通」、「4. あまり満足していない」、「5. 満足していない」の選択項目より回答を求めた。

全学と学部の集計結果を表3.1に、学科別の集計結果を表3.2にそれぞれ示した。

全学では「大変満足」が全体の41.3%となり、「満足」までに全体の93.8%となる75名の回答が得られている。学部別学びの満足度では国際経営学部では回答したすべてが「満足」以上の回答となった。

表3.1 別府大学での学びの満足度（学部別・全体）

学部名	大変満足	満足	普通	やや不満	不満足
文学部	11	21	4	0	0
	31%	58%	11%	0%	0%
食物栄養科学部	11	13	1	0	0
	44%	52%	4%	0%	0%
国際経営学部	11	8	0	0	0
	58%	42%	0%	0%	0%
大学全体	33	42	5	0	0
	41.3%	52.5%	6.3%	0.0%	0.0%

学科別の集計結果では、国際言語・文化学科で2名、人間関係学科では2名が「普通」で回答している以外は、すべて「大満足」、「満足」に分布している。また食物栄養科学部では2名が「普通」と回答している。発酵食品学科、国際経営学科では、回答者全員が「大満足」、「満足」に回答した。

表3.2 別府大学での学びの満足度（学科別）

学科	大変満足	満足	普通	やや不満	不満足
国際言語・文化学科	5	10	2	0	0
	29%	59%	12%	0%	0%
史学・文化財学科	3	5	0	0	0
	38%	63%	0%	0%	0%
人間関係学科	3	7	2	0	0
	27%	64%	18%	0%	0%
食物栄養学科	9	5	1	0	0
	60%	33%	7%	0%	0%
発酵食品学科	2	8	0	0	0
	20%	80%	0%	0%	0%
国際経営学科	11	8	0	0	0
	58%	42%	0%	0%	0%

#### 4) 「質問項目4. よかったところ」に関する集計結果

質問4では別府大学のよかったところとして、「授業科目構成」、「授業内容」、「ゼミ」、「サークル」、「奨学金制度」、「就職進路指導」「設備」の7項目に「その他」の項目を加え、複数回答可として回収した結果について集計を行った。

大学全体では、「ゼミ」(71.3%)、「授業内容」(62.5%)が高い評価を得た項目となった。

学部ごとの集計では、文学部では「授業内容」(64%)、「ゼミ」(56%)、食物栄養科学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(68%)、国際経営学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(53%)が高い評価を得た項目となった。

また、学科別集計結果においては、国際言語・文化学科では「授業内容」(53%)、「ゼミ」(53%)、史学・文化財学科では「授業内容」(88%)、人間関係学科では「ゼミ」(82%)、「授業内容」(73%)、食物栄養学科では「ゼミ」(73%)、「授業内容」(67%)、発酵食品学科では「ゼミ」(100%)、「授業内容」(70%)、「授業科目構成」(60%)、国際経営学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(53%)などが特徴的に高い評価を得た項目となった。

逆に、「サークル」は人間関係学科での55%、「奨学金制度」は国際言語・文化学科の18%、「就職進路指導」は国際言語・文化学科の47%、発酵食品学科の30%が目立つ結果となった。

##### 4.1 別府大学のよかったところ (学部別・全体)

学部名	授業科目構成	授業内容	ゼミ	サークル	奨学金制度	就職進路指導	設備	その他
文学部	5	23	20	14	4	10	2	3
	14%	64%	56%	39%	11%	28%	6%	8%
食物栄養科学部	11	17	21	4	2	5	2	4
	44%	68%	84%	16%	8%	20%	8%	16%
国際経営学部	7	10	16	2	3	4	2	0
	37%	53%	84%	11%	16%	21%	11%	0%
大学全体	23	50	57	20	9	19	6	7
	28.8%	62.5%	71.3%	25.0%	11.3%	23.8%	7.5%	8.8%

##### 4.2 別府大学のよかったところ (学科別)

学科	授業科目構成	授業内容	ゼミ	サークル	奨学金制度	就職進路指導	設備	その他
国際言語・文化学科	3	9	9	5	3	8	2	1
	18%	53%	53%	29%	18%	47%	12%	6%
史学・文化財学科	1	7	2	3	0	0	0	0
	13%	88%	25%	38%	0%	0%	0%	0%
人間関係学科	1	8	9	6	1	2	0	2
	9%	73%	82%	55%	9%	18%	0%	18%
食物栄養学科	5	10	11	0	1	2	0	2
	33%	67%	73%	0%	7%	13%	0%	13%
発酵食品学科	6	7	10	4	1	3	2	2
	60%	70%	100%	40%	10%	30%	20%	20%
国際経営学科	7	10	16	2	3	4	2	0
	37%	53%	84%	11%	16%	21%	11%	0%

### 5) 「質問項目5. 在学中の知識・能力の向上について」に関する集計

質問5として、在学中の知識・能力の向上について、「1. 課題発見・解決力」、「2. コミュニケーション力」、「3. 専門知識」、「4. 行動力」、「5. 責任感」、「6. 積極性・主体性」、「7. 協調性」、「8. 表現力」、「9. 自己管理能力」、「10. その他」として複数回答による結果を集計した。大学・学部集計結果を図5.1、学科別集計結果を図5.2にそれぞれ示した。

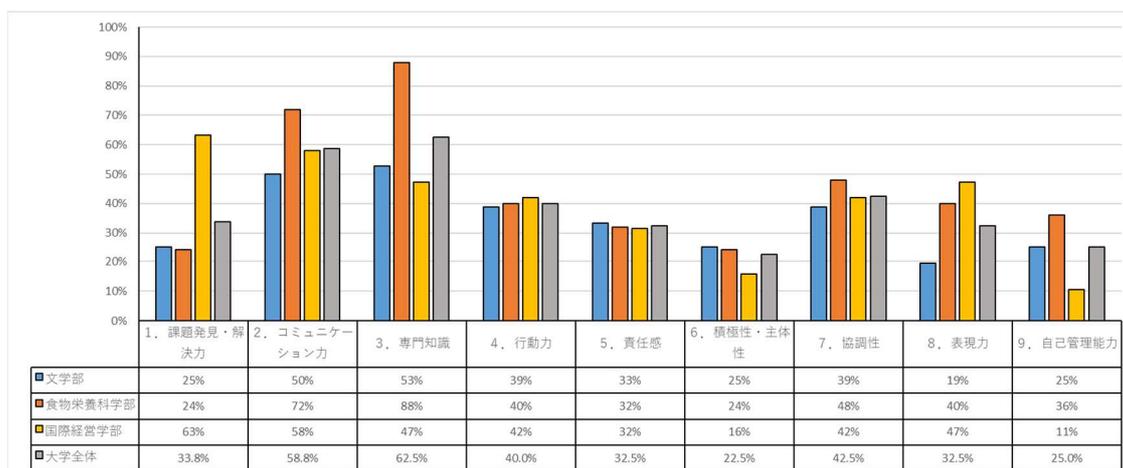


図 5.1 大学全体・学部別の在学中の知識・能力の向上に関する集計結果

大学全体では、「3. 専門知識」(62.5%)、ついで「2. コミュニケーション力」(58.5%)が高かったのに対して、「6. 積極性・主体性」(22.5%)、「9. 自己管理能力」(25%)、などが特徴的に低い結果であった。

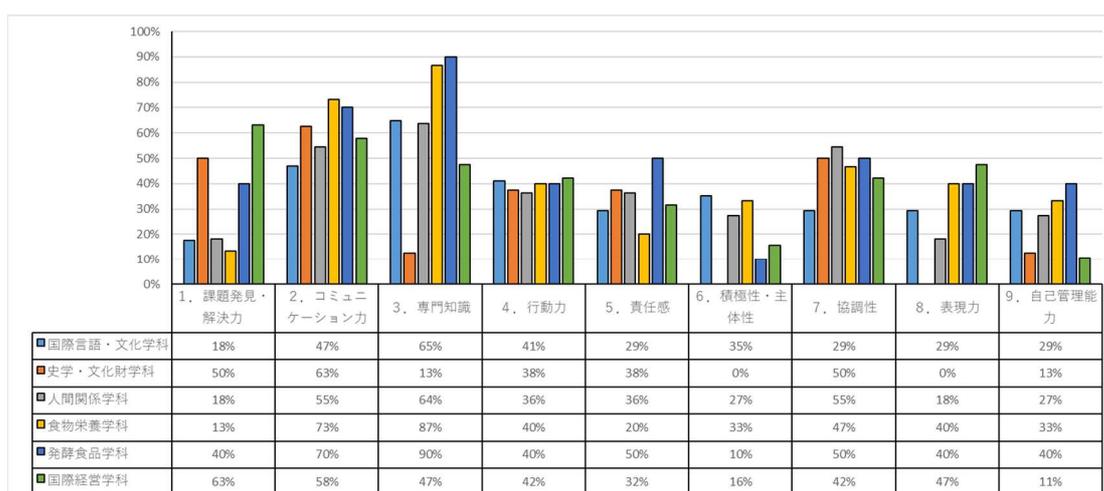


図 5.2 学科別の在学中の知識・能力の向上に関する集計結果

各学科別の結果では、「1. 課題発見力・解決力」が史学・文化財学科 (50%)、発酵食品学科 (43%)、国際経営学科 (63%) で高い一方で、人間関係学科 (18%)、食物栄養学科

(13%)と差があった。「2. コミュニケーション力」はすべての学科において47%から73%とおおむね高い値で推移していた。「3. 専門知識」においては史学・文化財学科(13%)において特に低い値となった。史学文化財学科の回答ではこれ以外に「6. 積極性・主体性」、「8. 表現力」、「9. 自己管理能力」で他学科に比べ低い結果となっている。

### 6) 「質問項目6. 就職後、感じる社会人に必要な能力」に関する集計結果

質問6として、就職後、感じる社会人に必要な能力について、「1. 課題発見・解決力」、「2. コミュニケーション力」、「3. 専門知識」、「4. 行動力」、「5. 責任感」、「6. 積極性・主体性」、「7. 協調性」、「8. 表現力」、「9. 自己管理能力」、「10. その他」として複数回答による結果を集計した。大学・学部の集計結果を図6.1に、学科別集計結果を図6.2にそれぞれ示した。

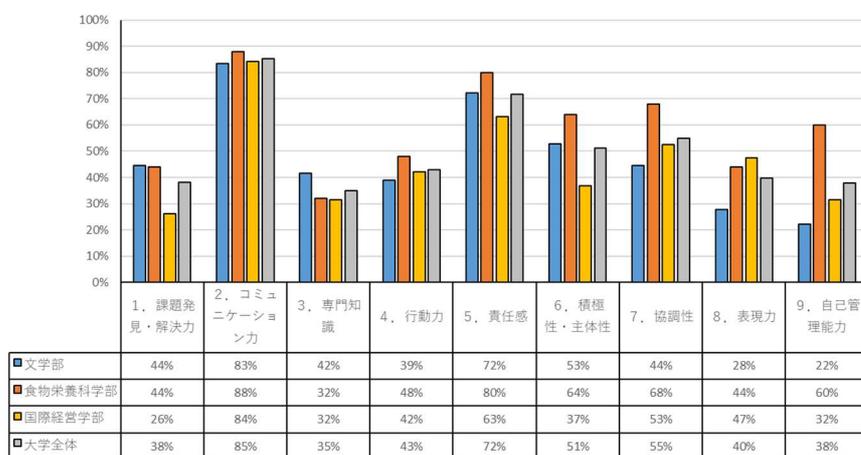


図 6.1 大学全体・各学部における就職後、感じる社会人に必要な能力

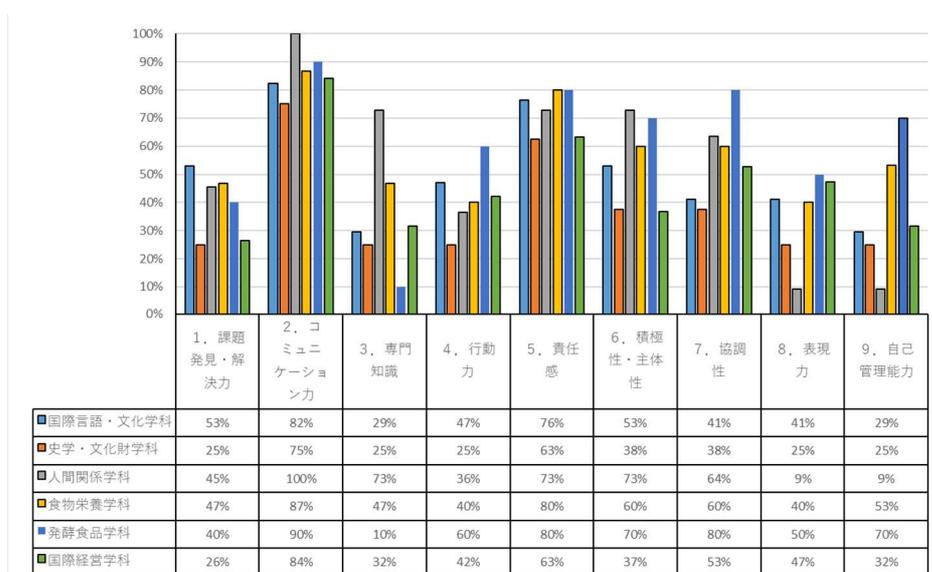


図 6.2 学科別における就職後、感じる社会人に必要な能力

全学科を通じて、「2. コミュニケーション力」は総じて非常に高い比率を示し、次いで「5. 責任感」が示されている。集計結果の学科間における特徴的に差が出ている項目としては、「3. 専門知識」が人間関係学科で特に高く（73%）、逆に発酵食品学科では低い（10%）比率を示した。また、「8. 表現力」や「9. 自己管理能力」は人間関係学科で目立って低い値となった。

### 7) 「質問項目7. 本学の教育について、良かった点或いは改善したら良いと思うことはありますか」に対するテキストマイニングの結果

質問項目7の本学の教育についてよかった点や改善したらよいと思うことについて、アンケート回答者全員の記述をテキストマイニングの分析対象とした結果を、図7.1に示した。「先生との距離が近いので、親身に接することができて良かった。」といった回答に代表される「親身」や「学べる」、「一人ひとり」といったキーワードが特徴として抽出された。

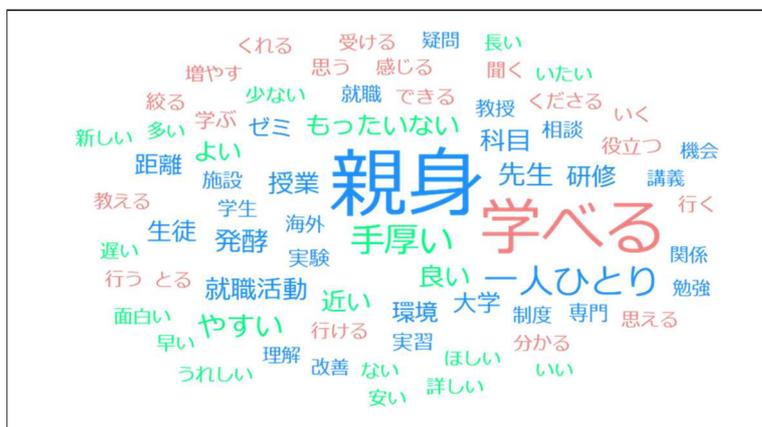


図 7.1 全学対象の質問項目7に対するワードクラウド

さらに学部ごとに回収された質問項目7の回答に対して分析をおこない、得られたワードクラウドを文学部は図7.2、食物栄養科学部を図7.3、国際経営学部を図7.4にそれぞれ示した。



図 7.2 質問項目7に対する文学部の回答のワードクラウド

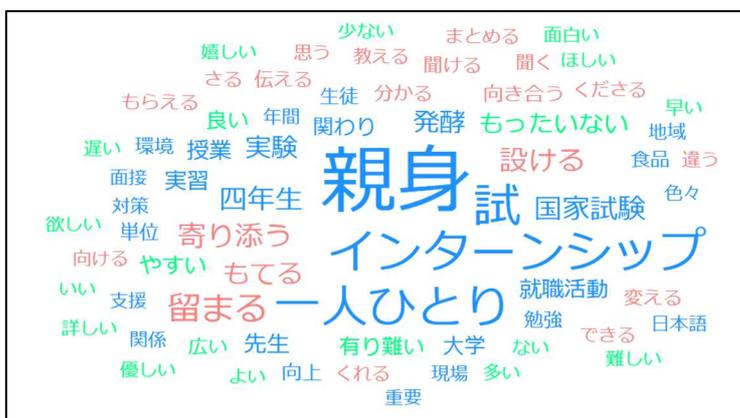


図 7.3 質問項目 7 に対する食物栄養科学部の回答のワードクラウド

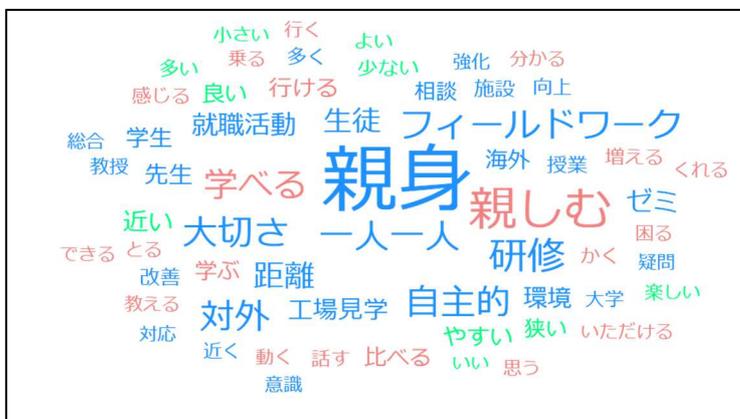


図 7.4 質問項目 7 に対する国際経営学部の回答のワードクラウド

質問項目 7 に対しては、文学部では「手厚い」、「学べる」、「専門知識」、「親身」、「少人数」などが代表的な語として抽出されている。食物栄養科学部、国際経営学部においては、「親身」を中心として、食物栄養科学部では「インターンシップ」や「国家試験」、国際経営学部では「研修」、「フィールドワーク」などが特徴的な語として抽出されている。









### 3. アンケートから見る授業改善と展望

平成30(2018)年度に実施された平成29(2017)年度の卒業生に対する聞き取りによる調査結果についてまとめると、アンケートの回収率については一般的な無作為抽出のアンケートの回収率を鑑みて、大学卒業生349人に対して、80名からの回答で回答率22.9%はおおむね良い回収率として考えることができる。

一方で、聞き取りで行われた調査として考えると、母集団からの無作為的な抽出となっているかについては今後、さらに検討の必要があると考えられる。

回答者の男女比は、おおむね全体の男女比の構成と大きく偏るものではなく、母集団の特性を反映しているものとして考えることができる。

「質問項目3. 別府大学での学びの満足度」に関する集計結果では、別府大学での学びの満足度について、大学全体では「大変満足」が全体の41.3%となり、「満足」が52.5%で、「満足」までに全体の93.8%となる75名の回答が得られている。これは大学全体として回答いただいたほぼすべての学生において、大学における学びに満足を得られているとの結果となった。学部別の学びの満足度では国際経営学部では回答したすべてが「満足」以上の回答となったことは、卒業生の満足度が十分に獲得できているものと考えられる。

「質問項目4. よかったところ」に関する集計結果では別府大学のよかったところとして、大学全体では、「ゼミ」(71.3%)、「授業内容」(62.5%)が高い評価を得た項目となった。学部ごとの集計では、文学部では「授業内容」(64%)、「ゼミ」(56%)、食物栄養科学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(68%)、国際経営学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(53%)が高い評価を得た項目となった。

また、学科別集計結果においては、国際言語・文化学科では「授業内容」(53%)、「ゼミ」(53%)、史学・文化財学科では「授業内容」(88%)、人間関係学科では「ゼミ」(82%)、「授業内容」(73%)、食物栄養学科では「ゼミ」(73%)、「授業内容」(67%)、発酵食品学科では「ゼミ」(100%)、「授業内容」(70%)、「授業科目構成」(60%)、国際経営学部では「ゼミ」(84%)、「授業内容」(53%)などが特徴的に高い評価を得た項目となった。逆に、「サークル」は人間関係学科での55%、「奨学金制度」は国際言語・文化学科の18%、「就職進路指導」は国際言語・文化学科の47%、発酵食品学科の30%が目立つ結果となった。

「質問項目5. 在学中の知識・能力の向上について」に関する各学科別の結果では、「1. 課題発見力・解決力」が史学・文化財学科(50%)、発酵食品学科(43%)、国際経営学科(63%)で高い一方で、人間関係学科(18%)、食物栄養学科(13%)と差があった。「2. コミュニケーション力」はすべての学科においてとおおむね高い値(47%~73%)で推移していた。「3. 専門知識」においては史学・文化財学科(13%)において特に低い値となった。史学文化財学科の回答ではこれ以外に「6. 積極性・主体性」、「8. 表現力」、「9. 自己管理能力」で他学科に比べ低い結果となった。

「質問項目6. 就職後、感じる社会人に必要な能力」に関する集計結果から、就職後、感じる社会人に必要な能力について、全学科を通じて、「2. コミュニケーション力」は総じて非常に高い比率を示し、次いで「5. 責任感」が示されている。集計結果の学科間における特徴的に差が出ている項目としては、「3. 専門知識」が人間関係学科で特に高く（73%）、逆に発酵食品学科では低い（10%）比率を示した。また、「8. 表現力」や「9. 自己管理能力」は人間関係学科で目立って低い値となった。

「質問項目7. 本学の教育について、良かった点或いは改善したら良いと思うことはありますか」に対するテキストマイニングの結果から、多くの学生が一人ひとりに親身に関わる、教員との非常に近い関係を持つ場であったことを示した。

「質問項目8. 大学での教育で、現在の仕事に活かされていることがあれば、教えてください」に対するテキストマイニングの結果からは、本学の卒業生が、それぞれの学科における教育内容の特徴を把握して表現している結果と考えられる。

「質問項目9. 後輩へのアドバイス」に対するテキストマイニングの結果では、後輩に対する「機会」や「可能性」を示す言葉が強く表現され

今回の調査結果から、卒業生は在学中の学びの中心は専門知識を中心として学ぶこととして考える一方で、コミュニケーション力などの汎用的能力に関する学びについても学んでいる。しかしながら課題発見力など就職後に必要と感じる学びなどについては今後の検討課題となるかもしれない。

これらを踏まえて、本学の卒業生は大学での学びに十分に満足しており、その満足は専門的な学びを中心とした学生個々と教員との親身で密接な関係性にあることが示されている。各学科の教員それぞれからの教育は、それぞれの学科の学生が現在の仕事に生かすべく前向きに取り組み、後輩へ向けた積極的なメッセージにつながっているように考えられる。

この調査で得られた結果より、大学全体や各学科における教育実践は学生の学びと卒業後の思考態度にしっかりと影響を与えていることが示された。これを前提として、高度な専門知識や資格の習得と汎用的能力の獲得を、個々の学生を主体とした教育に反映させていく改善が求められているように考える。

卒業生アンケートにおける結果を基礎的数値として、学科間における本学での学びの満足度や、在学中の知識・能力の向上については、各学科は他学科の評価を参考に、授業改善の課題を検討すべきである。卒業生の進路が多様である学部・学科における専門的知識習得は当然として、さらに4年間の学位プログラムを通じて、卒業生からの回答された就職後、感じる社会人に必要な能力を充足するカリキュラムの開発などへ全学的に取り組む必要がある。

**資料 テキストマイニングに用いた回答文**

**質問項目7. 本学の教育について、良かった点或いは改善したら良いと思うことはありますか」に対する回答（全文）**

**文学部**

面白い講義が多くて興味が持てた。

先生との距離が近いので、親身に接することができて良かった。

絵画コースにおいて、デッサンをしたことない人でも一からデッサンや油彩画、日本画などを学ぶことができるところがよい点だと感じました。

一年次から少人数制度による学べたこと、教職関係についての手厚いサポート、就職支援の充実など。

教授、生徒の距離が近く、相談などがしやすい点。

先生と生徒の距離感が近いこと。

様々な講義があり、必修科目をとりながら、興味のあることを学べた。研修などを通して学べる機会があったらよいなと思った（県内、県外、海外などへ）

授業のひとつひとつをととても詳しく教えていたあきたこと。教員になろうと本気で思えるようになったこと。

専門に限ってしまうが、実習科目がもう少しあったらよかったと思う。

コースの課題を増やしたほうがよい。就活に役立つ。自分の武器になる。

留学制度がなく、アイルランド研修は短時間で費用もそれなりにかかるため、比較的安い東南アジアの国々にも研究があれば行きやすいと思った。

食堂や図書館がもう少し長い時間空いていたらうれしかった。いくつか資格を取得するうえで、重なっていてあきらめることもあった。設備が色々と新しくなって行って、より過ごしやすくなっていった。

科目名は異なるが、内容が似ている授業が多かったので絞った方がよいと思った。

教職課程を履修する時や免許取得するのが大変だった。テストで出る範囲がちゃんと授業で行われていたのかは疑問。

留学制度や就職活動対策が充実していた点がよかった。

専門知識を学べる点

教授が親身になって相談を受けてくれる

プレゼンを授業の中でしたことが自分にプラスになった

専門知識をより深く養うことができた。就職時に役立つ実践的・実用的な訓練を行える場を増やしてほしい。

歴史についてしっかり学べたことはよかった。

一人ひとりのペースに合わせて指導してくれた。

少人数での授業がよかった。

良かった点は部活に理解をもってくれる環境があること。改善点は、文化祭などもっと盛り上げて別府大学らしさをもっとアピールできる環境があればよいと思う。

実践現場を経験している先生がいるので専門職として必要なことを学ぶことができた。

学校の施設時間を遅くしてもっと勉強できるようにしてほしい。

先生との距離がとても近くて相談しやすい点がよかった。

心理系の大学院を目指しながら福祉の勉強ができたところが良かった。

授業の面白さと先生方の手厚い指導がよかった。

### 食物栄養科学部

四年生の一年間国家試験に向けて勉強する時間がたくさん設けられていてよかった

先生方が親身になって国試対策や就職活動などの支援をしてくれたところがとても有り難かったです。

地域の方との関わりがもてたり大学内だけに留まらず広く色々な方と交流ができ、人として成長できたこと。

よっぽどでない限り学生の考えを受け入れ一緒に寄り添ってくださったこと。

国試で重要な点をまとめて 教えてもらえるので勉強しやすかった

分からない事があると すぐに先生や先輩に聞ける環境が良かった

そのまま暗記ではなく、メカニズムや流れが分かる事で理解しやすかった

他の大学と違い、先生が親身になってくれたところが嬉しかったです。

机の上の勉強だけでなく現場実習があったのが良かったです。

一人ひとり先生が生徒と向き合ってくださいるところが良かったです。

食物栄養学科では、進路選択や就職活動について一人ひとり面接をしてくださり、先生方に相談しやすい環境が良かったです。

個人的な意見ですが、教養科目として、日本語や伝える力を伸ばせる授業が欲しいと思いました。就活で面接の練習をしていて、根拠をもとに論理的に伝える能力や質問に対してしっかり答える重要さが分かりました。また、就職後も専門職、一般職、どの職種に対しても必要だと思うからです。

二か国目の言語が母国の言語力を上回ることはありません。日本語力の向上は、英語力の向上にも関係してくると思います。

特になし

疑問に思ったことをすぐに解説することができる環境が整っているところ（先生が熱心、聞きやすい雰囲気あり）

勉強が苦手な生徒にも先生方が親身になって教えてくれるところ

ムダな教科書類が多いほとんど使わない授業もあったのでプリントやノートに絞り、削減していいと思う

大学が閉まるのが早すぎる勉強できる場所がない

できればもう少し食品関係の仕事現場を見られる機会があればと思った。

大学全体はわからないが、また変えるのは難しいだろうが、3・4限×15回で1単位(実験)というのはどうしてだろう?演習なら2単位なのに。納得できない。外部講師の授業は良かった。実験で内容がかぶっているものがあつた。違うテーマの実験なので同じ実験でも角度を変えてもらえればよかった。講義も同様。

実習、実験があるのが良かった。見たものを全部覚えていけるので、これは学科の良い所であり強みである。先生によっては、評価をなあなあにするのはどうかと思う。

発酵では、発酵の専門的なことを詳しく学べた。卒論ゼミが3年後期からスタートというのは遅い。時間が少ない。もっと他の大学のように3年前期(早いところは2年後期)から始めてほしい。先生もフレンドリーでなんでも聞きやすく、一つの建物内ですべて完結するのは良い面もあるが、大学のほかの施設を利用しなかったのは今考えるともったいなかったかも。

食品主に発酵食品の面白さを知れたこと

特になし

パワーポイントで授業を行ってくださるのが良かったです。

インターンシップが授業であること。

インターンシップが授業で受けられる。

先生たちが優しかったです。

## 国際経営学部

就職活動に対する意識向上、自主的に動くことの大切さを学ぶべき。総合ゼミのような授業(対外的な)を強化すべき。

生徒と教授の距離が近く疑問などが出たとき話しやすい環境であると感じた。

フィールドワークが多い。海外研修、工場見学など

他大学に比べ生徒数が少ないため、先生一人一人とコミュニケーションをとる機会が多いこと。

他大学と比べて規模も小さいため、多くの学生に配慮されていると思う。

改善 専門分野の本が少ない。PC 設備(台数) 良かった 施設が狭いため移動がラク。

先生と学生の距離が近く、とても話しやすい環境でした。学生の要望にも柔軟に対応していただけました。海外研修にも何度も行けて良かったです。あとは、一部の先生の中で学生のプライバシーなどの理不尽な対応がありました。

先生との距離が近く、相談しやすく良い環境だった。海外研修もあり、大変良い経験ができた。

学部の教授方がとても親身だった。国際経営学部棟がキレイだった。海外研修にたくさん行けてよかった。

2018年9月10日

講師たちが親身になって相談ごとに乗ってくれたりなどして、親しみやすい点がよかった。留学生との交流があった。生徒のさまざまな意見、考えを共有できる環境。

就職活動の時困っていたりしたら先生と相談できたり、分からないところがあったら理解するまで教えてくれる。

良かった点は自由に自分の好きなことを学べたことです。改善点は無気力な授業をしている先生が何人かいたことです。国際経営の先生にはいませんでした。

多くの施設に見学に行け、学べたところが良かったです。

英語基準の授業増えた方がいいと思います。パソコン関係も増えた方がいいと思います。

ゼミ

ゼミが楽しくて良かった

大学内でする座学よりも、海外研修などで学んだことがとても多く感じますし、国際経営学科は特に先生方と生徒の距離が近いので、そこが別府大学に行って良かったと思える点でもあのマス。

「質問項目8. 大学での教育で、現在の仕事に活かされていることがあれば、教えてください。」に対する回答（全文）

**文学部**

コミュニケーション力が活かされています。

中学校の臨時講師をさせていただいているので、教職課程で学んだことはもちろん、学科やコースで学んだ専門的な知識が今の仕事に大変活かされていると実感します。

レポートなどの提出物の期日を守ることは、現在の仕事をしていても重要だと思います。

資格取得における専門知識

大学内での生徒の関わり合いが密接なため、コミュニケーション能力をのびやすいところ。またこの能力が直接仕事で役立っていると思います。

卒業論文など、レポートの締め切りがあるので、締め切りなどは活かされている。

教育の面で活かされていることはないように思う。自己監理での大学生活を通して活かされていることが多い。一人暮らしやアルバイトでの経験等現在、働いてみて一番思うことは、コミュニケーション力は非常に大切だと感じる。

教科の教育法で学んだ教材研究の取り組み方。

専門で学んだPCソフト、例えばイラストレーターが使えることが役立っている。

AIが使える（パソコンが使える）。

全く地学科目なので特にはないが、人権の講義が活かされている。

資格を取得できた事自体が活かされている。また実践的な授業内容で得たものも活かされている。

英語系の科目ビジネス日本語、コア5外国語を学んで、検定や資格を取得したことにより、職場で語学手当をもらえ、人の焼くにも立て、自分も得することができている。

ゼミで進路相談した経験がとくに活かされた。

まだ現場に出ていませんので何とも言えませんが、留学の経験から何事も積極的に取り組むことができます。

自分の知らない土地の人と接することでコミュニケーション、積極性を身につけられたこと

発表する時のコミュニケーション能力

仕事に対する積極性

自己管理能力 自分で行動する力

人の意見を尊重すること。誰に対しても尊敬の気持ちを忘れないこと。

自分の考えをことばにして伝えることができます。様々なことに関心をもつことができる。

何事にも前向きに挑戦できことは大学生活で養えたことが今の生活に活かしている。大学で学んだ専門知識とコミュニケーション力は仕事だけでなく社会の一員として活かしている。

る。

コミュニケーションに活かされている。

様々な価値観をもった人がいることを学び職場で人と関わる際に活かされている。

社会性や常識など基本的なこと。他施設との繋がりをつくれたこと。

専門的知識だけでなく社会性も学ぶことができたので仕事に活かすことができたと感じている。

心理を学んだこと。人の気持ちの変化に気づけること。

パソコンのスキルは大変役立っている。

## 食物栄養科学部

挨拶、上下関係

就職先にもよると思いますが、自分の場合は委託で病院勤務なので、病院実習で見たものや学んだことがそのまま活かされることがあるので、3週間の実習期間を真剣に取り組んでほしいです。

ライフステージ別の献立作成や、実習。

アレルギーの対応食

幼児との味噌作り

栄養教育の媒体作りや、おたより作成、実習での経験

直接的ではないが、エネルギーやタンパク質の吸収について"

膵臓が悪いから、脂肪を抑える など食事内容について

発注や検品、冷蔵庫の温度など給食関係

病院食の加算・非加算"

パソコンの使い方 (Excel)

大量調理での調理器具の使用法、発注作業など

お弁当の詰め方の授業←1:2:3みたいなやつ (浅田先生の) "

栄養指導を行う上で大学で学んだ専門知識が活かしていると思います。

とりあえず何でもやってみること

栄養学の知識が活かされてよかったです。

学外での活動などを通して、人前で話すことや初対面の方と話す際のコミュニケーションなど。

現在の職場「少年の船」では、「目上の方と接することに抵抗がない」です。

専門知識は残念ながら、活かせる職場ではありません。しかし、来年度は病院で働こうと考えているので、これから活かしていこうと思っています。"

特になし

大学時代に地域の方や外部の方と関わる機会があったことで、栄養指導のときなど何のためらいもなくコミュニケーションがとれる。

#### 専門知識

現在登録販売者の試験を受けるための勉強中で、健康食品に関する法律などの部分の理解に助かった。また、薬品の成分名なども聞いたことがあるものがあった。

HACCPはうちの工場でもやっているの知ってて損はない。学校で習ったことで外部講師の先生の企業の話が直接的には役立っている。他の部署だと他にも役立つことがあるだろうが、今の部署ではそれくらい。

研究室でPCの使い方を習ったので、3年後期でPCを初めて購入した。今は使いこなせていて助かっている。自己評価が低くて、人から責められるかなと思ったりしていたが、友人や先生たちと話をする中で、いろんな見方をすることができるようになった。

自分の部署的に専門的知識は今のところは活用できていない。就職の面接の時は、杜氏さんや社長と話をするのに、専門の話ができて役立った。現在の仕事は社内マニュアルに従ってやるので、特には専門知識は必要ない。ただ、ゼミの論文発表、プレゼンなどで、エクセルなどパソコンの使い方を身につけたのは役に立っている。

調理職に行ったので特にありません。

仕事は発酵関係でないので活かされていないが、私生活で食べ物など健康を意識して発酵食品を食べる様になった。

発酵に関する知識が仕事で活かしています

研究室（ゼミ）で学んだことが活かされています。（培地の作り方、器具の使い方、専門知識など）

専門科目の知識や卒業研究

科学知識

#### 国際経営学部

コミュニケーション能力

プレゼンテーションを通して、自分の思っていることを表現する力が養われた点。接客業において、お客様からの質問にわかりやすく返答する力が身についた。

フィールドワークのおかげで(色んなところを見てきたので)どんなお客様でも話ができる。プレゼン等グループ活動が多いため、コミュニケーションを取ることが得意になりました。自己管理能力、コミュニケーション力、次々と仕事が回ってくるなかで自分なりに期限を決めて動くことが大事であると感じた。

プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力。

目上の方と話をするができます。(コミュニケーションできる)文章を書く能力(特に卒論で)が活かされます。(まだ全然未熟ですが)

資格取得の機会が多く、簿記を取っていたので、知識を活かせることができます。

年上の人とのコミュニケーションのとり方。会話力がついた。

ゼミ等で教えてもらった会話力と知識などが要所で活かされています。

プレゼンテーション能力

コミュニケーション能力、積極性

ゼミのプレゼンテーションで培った表現力、リーダーシップ力。

主体性を持って行動することを学びました。今働いていても大切なことで、これからも活かします。また、物事を客観的にみて、一つの考えにとらわれないことも在学中に学びました。

広く視野を持つ事は働いていて、大事なことだと実感しています。

エクセルを使い、データ活用、プレゼンでの伝え方

現在の仕事に活かされている事は日本社会に入ったらビジネスマナーなどに役立っています。

アグリビジネス

マナー

大学で一番身に着けたことは、コミュニケーション能力や行動力なので社会人になって、お客様や先輩、上司、動機などのかかわり方が上手くできている感じです。

## 「質問項目9. 後輩へのアドバイス」に対する回答（全文）

### 文学部

進路で悩んだときは、一人で悩まず、いろんな人に相談してみてください。

キャリア支援センターや先生方に積極的に頼って、自分にあった就職先を見つけてください。

大学4年間は長く感じるようで、何も行動を起こさなければあっという間に終わってしまいます。これほど自由な時間は後にも先にもないように思えます。したがって遊ぶことも学ぶことも常に全力で取り組むことが重要だと考えます。

就職活動で悩んだ際は、とにかく数をこなすのではなく、あえてじっくり考えて、自分と何が向いているのか、何をしたいのかを見つめ直すこと。

学生生活では社会のこと、先の人生を考えて行動し、準備しておいたほうがよい。

私はなりたい姿や、やりたいことが4年間で見つかりませんでした。3年の後半に、進路相談に通い、自分はどのような仕事をしたいのか、毎日真剣に考えて、就職活動に望みました。説明会にも積極的に参加し、採用担当の方に顔を覚えてもらいました。ここに行きたい！という強い気持ちもあり、第一志望のところに就職することができました。やはり熱意が大切だと思います。そのために相手のことをたくさん知って、活動してください！！

社会人になればまた1からのスタートです。わからないことばかりです。そこで立ち止まらずに、常に自分のできることを見つけて行く積極性を持ってほしいと思います。

外国人の後輩へ」日本と自分の国の知識があるので、両方に関する仕事につくと楽しい。一般の後輩へ」どこにいくのか迷っている場合には、説明会に数多く参加して、いろいろな企業を知るとよいと思う。

とにかく作品をたくさんつくること。絵を描くだけでなく、マンガなり、絵本なり、オリジナルグッズ（タオル、マグカップ）等のモノ（形）にしておくこと。

自分の専門科目だけでなく、様々な科目の講義を受けることで、新たな発見や思わぬところで役立つことがあるので、幅広く受けてみることをすすめる。

バイトや遊びに多くの時間を費やしすぎると、大学で得ることのできる様々なことを逃してしまうと思う。周りに流されすぎず、自分が何をすべきか、見失わないことが大切だと思う。

アルバイトやサークル活動も大事だが、単位を稼ぐことに最も重きを置くべきだと思う。単位を落とさないことを前提に自分の好きなことに打ち込むこと。早めに就職活動に取り組むこと。

たくさん遊んで、旅行にも行った方がいいと思う。就活は早目に準備しておくといいです。大学でしっかり勉強してそれを社会で存分に活かして下さい。

早目の準備をしておくといいです。

何事もいつかは役に立つ時がくるので頑張ってください

何でも挑戦してやってみること。外に出てみることに。

学生時代を思いっきり楽しんでください。

頑張ってください。

今ある時間を大切にしてください。

大学では自由に使える時間が多いので様々な経験をするとよいと思う。

失敗を恐れずに何事も挑戦してほしい。ピンチはチャンスだと思って頑張るのり越え新しい道を切り拓いてほしい。辛い時、不安な時は仲間や先生方に相談し喜びや達成感を多くの人と共有してほしい。自分らしさを磨ける大学生活を思う存分楽しんでほしい。

余裕をもって卒業できるように計画的に進めましょう。

大学生活のなかで困ったことがあれば先生や友人に相談したらよいと思います。4年間で勉強、サークル、アルバイト等で学業やプライベートなど多くの経験をして有意義に過ごしてください。

将来の不安がつきないと思いますが目の前のことを精一杯取り組めば少しずつできることが増えてきます。頼れる先生方と同輩と一緒に様々なことを学んでください。

目標をみつけて頑張ってください。

大学ほど自由な時間はないです。やりたいことをすべてやって後悔のない日々を過ごしてください。

### **食物栄養科学部**

勉強は努力あるのみです。自分を信じてがんばってください。今のうちに自分ができることは何でも挑戦してください。

就職すると学生の時よりも人間関係がより大切になると思うので、先輩方との縦の繋がりを大切にしたり、それぞれ専門の先生方から多くの話を聞いたり、なるべく多くの人とコミュニケーションを取ることが大切だと思います。

国試に向けて勉強も頑張ってくださいですが、友人と遊んだり長期の旅行に行ったりできる時間も働き出したらなかなか取れないので、上手に時間を使って夢に向かって頑張ってください！

専門知識はもちろんですが、こんなに幅広い色々な経験ができる大学は少ないと思います。積極的に色々な活動に参加した方がいいと思います。

4年間決して楽な事ばかりではないですが、あの時頑張った良かったと思う日が絶対絶対来ると思います。

私はすすんで前の席に座って授業を受け、分からない事があると その場や授業後すぐ先生に質問をして 分からないままにしないようにしていました。積極的に勉強する姿勢をとっていたのは、「自分頑張ってるな！」とモチベーションを上げるのにも良かったです。

科目別では 生化学は、メカニズムを覚える(図で流れをかける)ようにしておけば、忘れにくいかと思います。

公衆栄養等も苦手な人が多いと思いますが(私も得意じゃない)中村先生の授業の内容がそのまま重要なので、素直にそのまま覚えるのが1番と思います。

だいたいどの授業も先生の言うことがほぼ全部重要なので、ノートやプリント・教科書のアンダーラインを素直に覚えるのがいいです。

国試が近づいてきたら、とにかく分からない問題を調べて1つずつ無くして行ってました。大学生のときに勉強や課題に苦しんだり、先生や友達と放課後や休み時間にたわいない話では笑いあったりするものがほんとに尊い時間だったなと思うので、後で後悔しないように充実した大学生ライフを過ごしてください！

自分のペースで頑張ってください。

栄養士業務をする方は事務仕事も多くなるので Excel の使い方を見直しておくといいと思います。

国試は過去5年分を完璧にしておけばいいと先生が言うのは本当です。理解して解けていれば大丈夫ですよ。"

いろんなことに挑戦する！

国家試験頑張ってください。

将来的にどんな自分になりたいかイメージして、大学生活を送ると良いよ思います。

自分の好きなこと、やりたいことにしっかりアンテナをはって欲しいですね！

仕事をし出すとやりたいことがなかなか出来ないなあと感じてるので、時間のあるうちに行動をして欲しいです！！

国家試験頑張ってください

3年ぐらいからある程度、形だけでもいいので、なりたい自分を考えておくといいかもしれません。

学校生活、国試勉強悔いのないように！

本当に叶えたい夢なら諦めず最後まで頑張ること。一人で悩まず、友達や先生に相談すること。

遊べるうちにいっぱい遊ぶこと。"

今取りたいと思っている資格などは、あとから後悔しないように進んでとるべき。

バイトは1回でもしていた方が良くと思う。バイトで、学生のように自由でない社会人に近いふるまいをしなくてはならない。インターンシップでもよいが、学生と違う社会人としての考え方をしておくのによいと思う。趣味が一つくらいないと辛くなる。休みになると、洗濯や掃除で1日費やすと、精神的にリフレッシュできることがほしい。

バイトは1回でもしていた方が良くと思う。バイトで、学生のように自由でない社会人に近いふるまいをしなくてはならない。インターンシップでもよいが、学生と違う社会人としての考え方をしておくのによいと思う。趣味が一つくらいないと辛くなる。休みになると、洗濯や掃除で1日費やすと、精神的にリフレッシュできることがほしい。

大学で運命的な出会いがあった。近所のカフェでとても良くしてもらい、お手伝いしながら

いろいろな人と出会い、合わない人との付き合い方も学んだ。後輩にもいろいろな人と関わってほしい。大学生の内輪の世界ではない社会の人と関わってほしい。今以上に高いところを目指して世界を広げて視野を広げてほしい。社会に出ると長期の休みなどなくなる。大学時代しかできないことを少し無茶してもやってほしい。就活では負けないで、やり切ったといえない間は頑張ってもらいたい。「～でいいと思うくらいなら受けなくてほしい。後悔しない選び方を。きつくなったら相談を。キャリアセンターも利用すべき。ネットで見て自分でできるというよりもプロに頼った過去の先輩の経験とか面接の仕方とかよく指導してくれた。時間はないかもしれないが、自分の学科の授業だけでなく、他の授業を取ってみるのも面白いんじゃないかと思う。また、早くから行きたい研究室を調べておいて、先生と話しておく方がよい。就職については、あっさり今の会社に受かって決めただけ、最終的には今の会社になるにしても、他にももっと受けてみたら経験になってよかったかも。就職試験を受けていろいろな会社の人と話をするのも役に立ったんじゃないかと思う。

社会人になると全然遊べないので大学生のうちにしっかりと遊んでおいて下さい  
今しかできない体験を多くしておくべき！それが、社会に出るときの道しるべとなる。チャンスは常にあるので、それを掴むかどうかは自分の行動次第！

どんな仕事についても大学で学んだことはどこかしらで役に立つので頑張ってください。  
コミュニケーション能力はとても大切です。

行きたい企業のことを良く知ること。

勉強を頑張った方がいいです。

### 国際経営学部

キャリアなど利用できるものを活用し、自主的に活動する。やりすぎるくらいやる!やりきることで結果がついてくると思います。何度も通う!質問する!エントリーシートを100回見直し!

困ったら一人で抱えず、周りの人を頼ってください。(同級生、教授など)

積極的に外に出よう!学生のうちに色々な国、仕事を見て、自分の軸となるものを見つけられれば最高です。

元気と健康な体と気合があればなんとかなります。

在学中、時間がある中で資格取得であったり、自分の興味のある専門分野を極めていけば仕事に生かせると思う。

主体性、積極性をもって行動すること。

1.2年の時に必修科目をたくさん取っていた方が、3年で専門をしっかり勉強ができ、4年では就活、卒論に集中できます。あとは1~2年・3年前期でたくさん遊んでください。

好きなことを選んで学べることができたら、仕事に直接的に活かせなくても、プライベートや会社での話の広がりにもなるので、色々なことに挑戦してほしいです。

学ぶべきことは学び、ほどほど遊び、サークルやバイトをして、充実した学生生活がおくれ

るようにがんばってね!!

就職活動の時期になると落ち込みがちなのでそういう時期にこそ講師の人間に頼るのが良いと思います。

大学学生生活を楽しんでください!

色々とたくさんの知識をつけること、行きたい企業については詳しく細かく調べること。是非、ティエフ・シーへ来てください!

大学でしか学べないことがたくさんあります。あっという間の4年間です。時間を有効に活用して悔いのないキャンパスライフを楽しんでください!

一つは貪欲になること。貪欲に情報を集め、聞きにくいこともしっかり聞く。判らないことをそのままにしない。今後の人生に大きく影響する選択が在学中にはいくつもあります。何でも良いので欲を持ちましょう。もう一つは周りの人に迷惑をかけない。何をするときも自己責任になります。悩んだときは相談。自分だけの人生ではありません。頑張ってください。時間がある学生のとくに、遊びや勉強、アルバイトを通して沢山の経験をしてください!

3年生になると授業取って4年生になって就職活動頑張ってください。

社会人は楽しくて、大変です

コミュニケーションは大事

大学生のうちに自分が将来何をしたいかしっかり計画を立てて就活をすれば後悔せずに過ごせると思います。社会人になったら自由な時間が減るので今のうちに沢山遊んで沢山学べばいいと思います。